

長射程ミサイル研究契約

極超音速誘導弾など三菱重工と

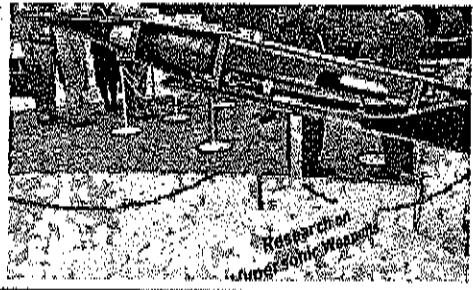
防衛省は6日、岸田政権が導入を決定した敵基地攻撃能力の一環として、射程3000キロ超に達するとみられる「極超音速誘導弾」（以下「超音速誘導弾」と記す）の開発・配備が実現する。このため、迎撃が困難とされています。沖縄に配備すれば東アジアの大半が射程圏内に收まり、「島しょ防衛」を完全に逸脱します。

契約期間は2003年度までとなっています。射程が2000～3000キロに達し、変速軌道で攻撃する「超音速誘導弾」として、射程3000

キロ超音速誘導弾」の要素技術の研究について、川崎重工業と27年度までの期間で契約しました。

極超音速誘導弾は音速の2倍以上で飛び、

軌道も自在に変えられ



防衛装備庁が開発している極超音速誘導弾の模型